

Staff

Produced and Directed by Otto Preminger
Book and lyrics by Oscar Hammerstein, 2nd
Screenplay by Harry Kleiner
Music by Georges Bizet
Musical Direction Herschel Burke Gilbert
Associate Ted Dale
Color by De Luxe
Photographed in CinemaScope
Director of Photography Sam Leavitt, A.S.C.
Camera Operator Albert Myers
Costumes Designed by Mary Ann Nyberg
Art Direction Edward L. Hou
Set Decoration Claude E. Carpenter
Film Editor Louis R. Loeffler
Music Editors Leon Birnbaum, George Brand
Sound Roger Heman, Arthur L. Kirbach
Music Recording Vinton Vernon, Murray Spivak
Production Manager Herman E. Webber
Production Assistant Maximilian Slater
Assistant Director David Silver
Casting Consultant Lina Abrahams
Fights Staged by John Indrisano
Titles Designed by Saul Bass

Page Four

Cast

Joe	Harry Belafonte
Carmen	Dorothy Dandridge
Frankie	Pearl Bailey
Cindy Lou	Olga James
Husky	Joe Adams
Dink	Nick Stewart
Rum	Roy Glenn
Myrt	Diahann Carroll
Sgt. Brown	Broc Peters
T-Bone	Sandy Lewis
Sally	Mauri Lynn
Trainer	DeForest Covan

OTTO PREMINGER
presents
OSCAR HAMMERSTEIN'S
CARMEN JONES



COLOR by DE LUXE
CINEMASCOPE

20th
CENTURY-FOX

OTTO PREMINGER presents OSCAR HAMMERSTEIN'S

CARMEN JONES

カハルメン

音楽 ジョルジュ・ビゼー 作詞・脚本 オスカー・ハマステイン



CINEMASCOPE

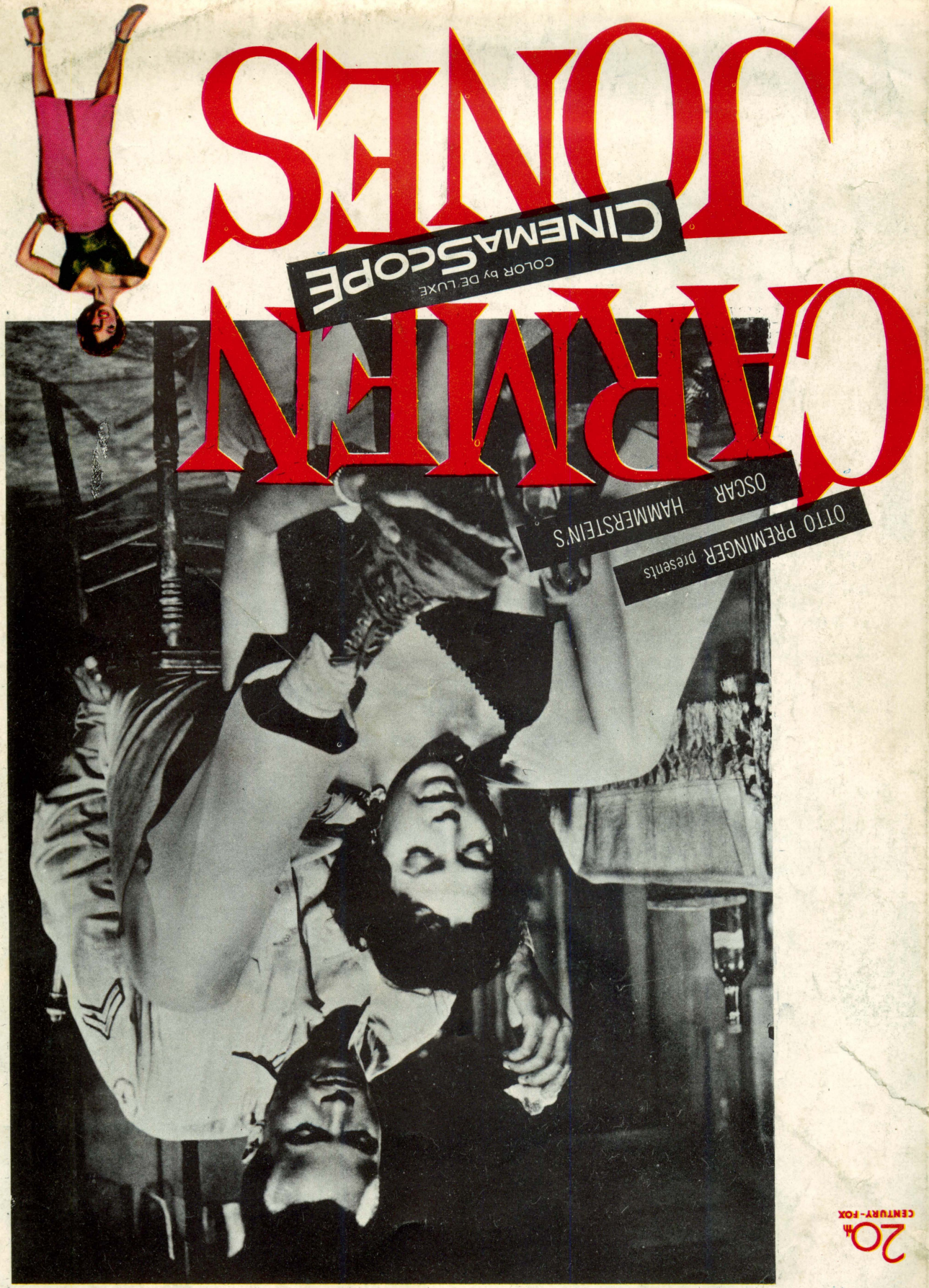
ハリー・ベラフオンテ
ドロシー・ダンドリッジ
製作・監督 オットー・プレミンガー



総天
然色

20th
CENTURY-FOX

紅いバラの燃えるが如く男から男へ情熱のまゝに身をこがすカルメン！



CARMEN JONES

CINEMASCOPE
COLOR by DE LUXE

OTTO PREMINGER presents
OSCAR HAMMERSTEIN'S

HARRY BELAFONTE DOROTHY DANDRIDGE
produced and directed by OTTO PREMINGER
book and lyrics by OSCAR HAMMERSTEIN
music by GEORGES BIZET

20th
CENTURY-FOX

キヤスト

製作・監督	オットー・ブレミンガー
脚本・歌詞	オスカ・ハマーシュチン二世
脚色	ハリ・クライナー
音楽	ジョルジ・ビゼー
音楽監督	ハーシエル・パーク・ギルバード
補佐	テッド・デイル
撮影監督	サム・リービット
カメラ係	アルバート・マイヤー・ズ
衣装考案	メリー・アン・ナイパー・グ
美術監督	エドワード・L・アイロウ
装置	クロード・E・カーペンター
フィルム編集	ルイズ・R・ローフラー
編曲	レオン・バーンbaum
	ジョージ・ブランド
サウンド	ロージャヤ・ヒーマン
	アーサー・L・カーバック
音楽録音	ビント・バーノン
	マレイ・スピバック
製作マネジャー	ハーマン・E・ウエッバー
製作補佐	マクシミリアン・スレイター
助監督	デビッド・シルバー
配役顧問	ライナ・エイパーネル
拳闘演出	ジョン・インドリサノ
字幕デザイン	ソウル・パス

スタッフ

られてあつた。
ジョウはカルメンを逃がした罪でやがて軍拘留所に送られる。彼は片時もカルメンを忘れることができない。シンデイが彼に合ひに来た日、カルメンからバラの差入れがある。ジョウはますますカルメンにこがれる。シンデイはジョウが依然としてカルメンに迷っていることを知り悲しい思いで立ち去る。

一方カルメンもジョウのことが忘れられない。彼女は夜毎あるカフェに現われ、ジョウが出所して帰って来るのを待ちわびている。ある夜そこへハスキー・ミラーというヘビー級の拳闘選手がやって来てカルメンに眼をつけシカゴへ連れて行きたいと考える。それを知ったハスキーのマネージャーのラムと一緒にシカゴへ行こうと誘い、またハスキーもミンクや宝石を買ってやるうと云ったがジョウに深い未練のあるカルメンは心を動かそうとしない。ラムはシカゴ行き切符を彼女に渡し情婦のフランキー（パール・ベリリー）を連れハスキーとシカゴへ立つ。間もなく、出所したジョウがカフェの前を通りかかり、カルメンと再会する。再び航空隊行きを許されたジョウは直ぐ立たねばならないとカルメンに話すと、彼女は一緒にシカゴへ行こうと云い出す。そこへ突然ブラウン軍曹が現われ、ジョウをからかったあぐくカルメンをどこかへ誘おうとする。怒ったジョウはブラウン軍曹をノックアウトしてからカルメンとシカゴへ逃げる。

シカゴへ着いたジョウはカルメンと線路に近い安宿に幾週間も身を隠している。上官を殴り倒して脱走したジョウは軍のお尋者になったのだ。やがて金に詰ったカルメンはフランキーに金を借りるためにハスキーの稽古場を訪ねたが、フランキーは金を持っていなかった。ハスキーも再度衣裳や宝石に不自由はさせないと云ってカルメンの気をひこうとしたが、カルメンはその手に乗って来なかった。カルメンが自分の腕飾を売って金に替え、宿に帰って来ると、ジョウが彼女に遅く帰って来た理由や金の出どころを執念ぶかくきき出そうとしたので急にカルメンはジョウに厭気がさし躍気となってジョウがとめようとするのを振り切ってフランキーのところへ行くと云って再び出て行く。

ジョウはカメメンがそれきり隠れ家に帰って来ないので、MPに見つかる危険を冒してカルメンを探しに出かける。ジョウの婚約者シンディもハスキーの稽古場へ訪ねて来て、ハスキーと一緒にいたカルメンにジョウの居所をたづねているところへ突然ジョウが現われナイフを抜いてハスキーに襲いかかったが、逆にハスキーのためにうち倒される。そこで急報により警官が駆けつけて来たが、カルメンは裏口からジョウを逃がしてやる。シンディは遂にジョウを締め泣き泣き去って行く。

ハスキーが南米の重量選手権保持者キッド・ポンチョを敗った日、スタジアムに現われたジョウが、そこにいたカルメンを捕え一緒に逃げてくれと云つてカルメンに拒わられたので遂に逆上したジョウは彼女を絞め殺し潔よく縛につく。

(七巻、一時間四七分)

による完全立体音響！

カルメン

CARMEN

JONES

魅了する絢爛のミュージカル！

Lyrics visible on the right side of the poster:

I go for you
I'm faboo You go for me
You're
through

フランスの小説家プロスペル・メリメ（一八〇三—一八七〇）の小説に取材した同じくフランスの作曲家ジョルジ・ビゼー（一八三八—一八七五）の有名な歌劇「カルメン」を「南太平洋」のオスカ・ハマースチンが巧みに現代風に作りかえたミュージカルで、「情炎の女サロメ」、「雨に濡れた欲情」、「東京暗黒街、竹の家」のハリ・クライナーが脚色し、「月蒼くして」、「第十七捕虜収容所」、「軍法会議」、「悲しみよ今日は」のオットー・プレミンガーが製作、監督した。

オットー・プレミンガーは一九〇六年十二月オーストリアのウィーン生れで、ウィーン大学を卒業した。十七才のときからマクス・ラインハルトの門下で俳優となり、後に演出家を経て三二年に映画監督となり、三四年に渡米して翌三五年から四〇年までニューヨーク・ブロードウェイで演出を続けた。映画に關係したのは三六年で、フォックスで第一作「ZEBRA YOURS」を発表した。

「第十七捕虜収容所」では出演もした。作品は前記の外に「ローラ殺人事件」、「永遠のアンバー」、「哀しみの恋」、「黄金の腕」等があり、最近作として「ボーギーとベス」がある。

音楽はもちろんジョルジ・ビゼーの名曲で、オスカ・ハマースチン作詞の十数曲が紹介されるが、ペラフォンテの歌う声はオペラ歌手バーン・ハッチャーソン、ダンドリッジの歌う声は同じくオペラ歌手マリリン・ホーン、ジョウ・アダムスの歌う声は同じくオペラ歌手マービン・ヘイの吹きかえである。撮影監督は「戦塵」、「野獣部隊」のサム・リービットである。なお、この映画の字幕デザイナーは「七年目の浮気」の字幕のデザインをした有名なソウル・パスであるが、黒バックに白ヌキの字幕とカルメンを象徴するバラ一輪を囲む燃えさかるオレンジ色の炎はきわめて印象的である。

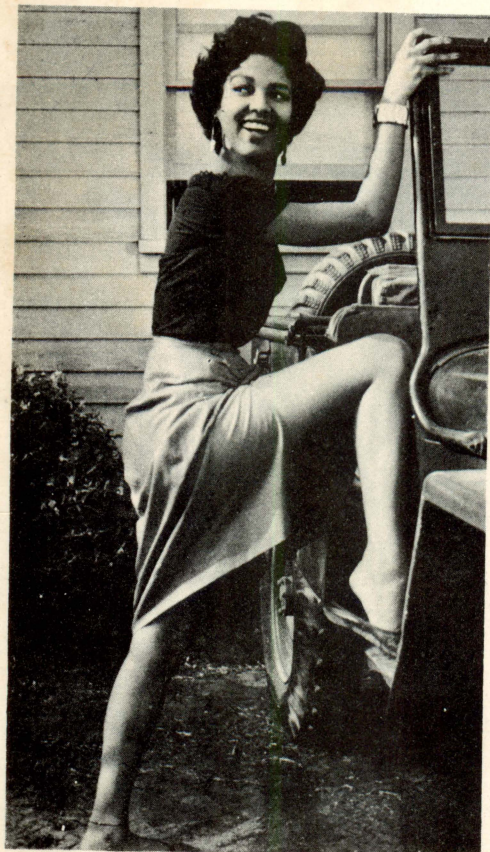
主演者は「日のある島」で初めて日本に紹介された有名な黒人歌手で最近「拳銃の報酬」に出演したハリ・ペラフォンテと同じく「日のある島」で紹介された黒人女優ドロシー・ダンドリッジの顔合せで、他に「すてきな気持」や最近「ボーギーとベス」に出演した黒人歌手パール・ベ伊利ー、ワシントン出身のソプラノの新人オルガ・ジェイムス、黒人の名ディスク・ジョッキー・ジョウ・アダムスその他が出演している。

物語

大戦中の物語、ジョウ（ハリー・ベラフォンテ）は南部にたむろする黒人部隊所属の伍長で、近いうちに航空隊に廻わされることになっている。彼にはシンディ・ルウ（オルガ・ジェイムス）という気立てのやさしい婚約者がある。キャンプのすぐそばに軍のパラシュート工場があつて、そこにカルメン・ジョーンズ（ドロシー・ダンドリッジ）という妖艶な浮気娘が働いている。

シンディがキャンプにジョウを訪ねて来た日、カルメンが美男のジョウを見つけ、食堂で彼に盛んに秋波を送り、誘惑しようとしたが、ジョウは相手にしない。ジョウは部隊長の認可を得て、すぐにでも結婚式をあげたいと思っている。それから間もなく、工場でカルメンが女工の一人とつかみ合いの喧嘩をしたあげく器物を破損した罪でメイソンビルという遠い町にある拘留所送りとなり、ジョウがカルメンの護送役を命じられる。いやな護送役をジョウに押しつけたのは予てジョウに悪意を抱いていた意地の悪いブラウン軍曹であった。ジョウはやむなくシンディとの結婚を一時のばし、カルメンをジープに乗せて出発する。カルメンは好機到れりとばかり、ジープの中でアノ手コノ手とジョウを誘惑しようとしたが、相変らずジョウがその手に乗って来ないので到頭業を煮やしたカルメンはジープが踏み切りにとさしかかり、折からやって来た貨物列車が通過するのを待っていた間に隙をうかがひ貨車に飛び乗り逃げるのとすのをジョウが追いかけて捕え、手足を縛り、再びジープに乗せ、近道をするために旧道を行き橋を渡ろうとすると橋が落ちてジープがエンコしてしまふ。そこでカルメンはジョウに、そこから程遠からぬ村に彼女の家があつて、その村からメイソンビル行きの夜汽車が出ると云つてジョウを納得させ、自分の家へ連れて行き、色々と彼をもてなしたあげく到頭彼を落城させる。一夜あけてジョウが眼をさますとカルメンの姿はなく置手紙





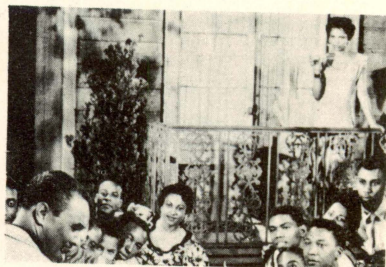
ハバネラ

全篇を彩る豪華絢爛のミュージカルナンバー

この映画には古くから全世界の人々の耳になじんで来たビゼエの名曲が、感覚も新たに全篇を彩っている。「南太平洋」の名匠ハマスティンが新たに書いた歌詞と物語が作品に現代的な躍動感を脈々と与えているのである。紹介されるミュージカル・ナンバーは別記の通りであるが中でもここにかけた写真のシーンは音楽通にはたまらない魅力を感じさせる有名場面である。



ジプシー・ソング



トレアドル・ソング



カード・ソング



フラワー・ソング

1. Overture **MUSICAL NUMBERS**
2. Prelude
3. Lift 'Em Up and Put 'Em Down (Changing of the Guard)
Sung by the Children
4. Honey Gal o' Mine
Sung by the Men's Chorus
5. Dat's Love (Habanera)
Sung by Carmen, Sgt. Brown, the Ensemble
6. You Talk Jus' Like My Maw
Sung by Joe, Cindy Lou
7. Carmen Jones Is Goin' to Jail
Sung by the Ensemble
8. Dere's a Cafe on De Corner (Seguidilla)
Sung by Carmen
9. Dis Flower (Flower Song)
Sung by Joe

10. Beat Out Dat Rhythm on a Drum (Gypsy Song)
Sung by Frankie
Danced by the Chorus
11. Stan' Up and Fight (Toreador Song)
Sung by Husky, the Ensemble
12. Whizzin' Away Along De Track (Quintet)
Sung by Carmen, Frankie, Myrt, Rum, Dink
13. De Cards Don't Lie (Card Song)
Sung by Carmen, Frankie, Myrt
14. Dat Ol' Boy
Sung by Carmen
15. My Joe (Micaela's Air)
Sung by Cindy Lou
16. Dat's Our Man
Sung by the Ensemble
17. Duet
Sung by Joe, Carmen
18. Finale



◎この映画は監督のオットー・プレミンガーが数年間企画をいただいていた作品である。原作があまりに有名なヒット・ブレイであること、出演者がすべて黒人という点などで製作は難行した。しかしプレミンガーのねばりで遂に完成。映画は空前のヒットをかけたのである。

◎ブロードウェイでヒットした原作舞台劇はビゼエの曲をそのまま使ったオスカー・ハマステインが作詞したのであるが、この仕事はハマステインが八才の時から計画していた事だった。というのはハマステイン一家は音楽一家であり、彼も幼くして父と共にオペラ等を見ていた。しかしオペラはアメリカ大衆になじめない古風なままである。彼はいつかはこのオペラとアメリカ・ミュージカルを結合させようと決心していたのだった。

◎主演のドロシー・ダンドリッジはこの映画で一躍脚光をあびた。それまではターザン映画の土人役などでくさっていたがハマステインの目にとまって成功したのである。その女豹の様な肢

のと評判になり、プレミンガー監督も絶賛をおしまなかった。今、ダンドリッジはプレミンガーの大作「ボギーとベス」に主演している。

◎この映画のタイトル・デザインは人も知るソウル・バスの第一回作品である。彼はプレミンガーの「黄金の腕」悲しみよこんにちを「はじめ現代ハリウッドでも第一人者として活躍しているが、その才能をほり出したのはこの作品だったのである。

◎最近レコード界でもステレオ・ブームであり、「南太平洋」なども立体音響の偉力を存分に発揮したものだ。この「カルメン」も四本の磁気サウンド・トラックによる完全立体音響で、場内の四周から聞こえる名曲の数々は、音楽ファンを魅了するに充分である。

◎フランキーにふんずけるパール・ベイリーはバージニア州ニューポート・ニュース生れで、フィラデルフィアとワシントンで教育を受け15才のときから舞台に立ち、やがてダンサーとしてペンシルベニア州の各都市を巡業して歩き、後に有名なノーブル・シッスルのバンドについてボードビルの歌手となった。ブロードウェイで彼女は一九四六年ドナルドソン賞を獲得している。

ドロシー・ダンドリッジ

DOROTHY DANDRIDGE

彼女もベラフォンテと同じく「日のあたる島」で紹介された。ベラフォンテもそうであるが、黒人と云っても純粋の黒人ではなく白人の血を可なりひいているらしく、すこぶる美人である。

オハイオ州クリーブランド生れで、本名ドロシー・ダンドリッジ。父親エイプリル・ダンドリッジは宗教家で母親ルビーはボードビリアンの娘であった。ドロシーが生れる少し前に両親は離婚した。母親ルビーはビビアンとドロシーを芸人に仕立てて行った。ドロシーは5才のときからボードビルに出演した。8才のとき家族はロスアンゼルスへ移住、ドロシーはそこで教育を受け高校まで進んだが、中退して姉のビビアンと組んでナイトクラブの歌手となったが、後にハリウッド演劇学校に入り演技を学んでから一流ナイトクラブの芸人に進出、ついでテレビに出演して大スターとなった。映画入りは五一年で「ターザンと密林の女王」、「銀狼セレナーデ」等にちよと顔を出し、五二年ハリ・ベラフォンテ共演でMGMのBRIGHT ROADに出演して認められた。

一九四四年ダンサーのハロルド・ニコラスと結婚したが、五一年に離婚した。目下ハリウッドのサンセット・ストリップにあるフランス摂政時代風の邸に住んでいる。彼女の衣裳道楽も有名である。

ハリ・ベラフォンテ

HARRY BERAFFONTE

「日のあたる島」で初めて紹介され最近「拳銃の報酬」に出演した黒人歌手。いわゆるカリブソ歌手、民謡歌手として一時騒がれた彼本来の念願は俳優になることである。「カルメン」を見てもわかる通り黒人には珍しい美男であるし、優れた演技力ももっている。

一九二六年三月ニューヨーク生れで、本名はハロルド・ジョージ・ベラフォンテ。父親はマルチニク島(仏領西インド諸島の一つ)出身で母親はジャマイカ(英領西インド諸島の一つ)出身である。ジャマイカとニューヨークの使徒トマス教区学校、ジョージ・ワシントン高校出身。四四年から二箇年間海軍に入った。除隊後、俳優を志した彼はニューヨークのドラマ・ワークショップに入った。歌手としてナイトクラブに出演するようになったのは四九年からで、翌年友人とレストランを開業し、そこでジャズと民謡を歌っているうちに認められてビクターとMGMレコードと契約した。五二年にMGM映画に招かれてハリウッドへ行きBRIGHT ROADにデビューした。ブロードウェイにはその翌年 JOHN MURRAY ANDERSON'S ALMANACでデビューした。「カルメン」は五四年度出演作である。

身長⑥フィート①インチ、体重⑩ポンド、髪はブラウン、眼は黒。四八年にニューヨーク大学の児童心理学教師マーゲリット・バードと結婚し二児をあげたが五七年に離婚した。

製作ノート

◎この映画は監督のオットー・プレミンガーが数年間企画をいただいていた作品である。原作があまりに有名なヒット・ブレイであること、出演者がすべて黒人という点などで製作は難行した。しかしプレミンガーのねばりで遂に完成。映画は空前のヒットをかけたのである。

◎ブロードウェイでヒットした原作舞台劇はビゼエの曲をそのまま使ったオスカー・ハマステインが作詞したのであるが、この仕事はハマステインが八才の時から計画していた事だった。というのはハマステイン一家は音楽一家であり、彼も幼くして父と共にオペラ等を見ていた。しかしオペラはアメリカ大衆になじめない古風なままである。彼はいつかはこのオペラとアメリカ・ミュージカルを結合させようと決心していたのだった。

◎主演のドロシー・ダンドリッジはこの映画で一躍脚光をあびた。それまではターザン映画の土人役などでくさっていたがハマステインの目にとまって成功したのである。その女豹の様な肢

